

## デジタル総合戦略における現戦略との変更点

### 1 デジタル総合戦略を通じて実現すること(地域ビジョン)を設定

国の戦略策定の考えに基づき、デジタル総合戦略を通じて目指すべき理想像（地域ビジョン）を掲げることが示されている。そこで、デジタル総合戦略では、国のモデルとも組み合わせた地域ビジョンを盛り込む。

- (1) 女性に魅力あるまちの実現【本市独自ビジョン】
- (2) 持続的な地域経済の実現【国モデルビジョン】
- (3) 暮らし、学び続けられる生活基盤の実現【本市独自ビジョン】
- (4) スマートシティの実現【国モデルビジョン】



**女性や若者を惹きつけ、子どもが健やかに育つ、暮らし続けられる羽咋をつくる**

### 2 地域ビジョン実現のため、下記3点を施策・事業の実施方針として記載

- (1) 地域経済の発展に寄与し、環境に配慮した施策・事業の実施
- (2) 共創による施策・事業の実施
- (3) 広域連携を生かした施策・事業の実施

### 3 デジタル技術活用を明記

現戦略の基本目標1～5に対応する、5つの基本目標の全てにデジタル技術活用の視点を盛り込み、デジタル技術の積極的活用を図ることとする。

さらに、新たに基本目標6「スマートシティ推進」を設け、デジタル技術を取り入れるための基盤、環境整備を行っていく事業を掲げる。

### 4 各基本目標の数値目標と事業のKPIを精査、「選択と集中」

人口減少対策に取り組み、持続可能なまちづくりを目指すため、第2期総合戦略に設定した数値目標を精査。数値目標とKPIの関連性を明確にし、第2期総合戦略では82あったKPIを44に絞った。併せて、選択と集中により必要事業も整理。